

平成27年度対ボツワナ草の根文化無償資金協力
「柔道道場建設計画」引渡式の開催

2017年3月13日
在ボツワナ日本大使館

2月28日、標記「柔道道場建設計画」（平成27年度対ボツワナ草の根文化無償資金協力）の引渡式（こけら落とし式典）が開催されました。同道場は、かつてボツワナで青年海外協力隊員として柔道指導を行い、2014年、旅行中にケープタウンのテーブルマウンテンで事故死した井坪圭佑氏に敬意を表し、「井坪先生記念道場」(Sensei Itsubo Memorial Dojo) と命名されました。

同引渡式には、尾西大使、ボツワナ柔道連盟（被供与団体）会長、国際柔道連盟代表、青少年地位向上・スポーツ文化開発省次官、ボツワナ国家スポーツ委員会議長、ボツワナ・オリンピック委員会委員長を始めとする政府関係者、当国柔道関係者の他、井坪氏の出身大学である東海大学の山下泰裕副学長が代表を務めるNPO柔道教育ソリダリティーの代表（柔道衣を寄贈）、井坪氏の大学の同級生でリオ・オリンピック柔道金メダリストの田知本遙選手など約130名が参加しました。尾西大使による道場のオープニング宣言とテープカットの後、当地柔道家による柔道のデモンストレーションの他、田知本選手が、井坪氏の教え子で、ボツワナ人として初めてオリンピックの柔道競技（リオ）に参加したガビン選手を相手に得意技の披露を行いました。翌日、田知本選手は、柔道教室が開催されている市内の2つの小学校を訪れ、生徒からの質問に答えるとともに柔道のデモを行いました。また、新柔道場でシニアの柔道家を相手に本格的な柔道の指導も行うなど当地柔道家との交流を深めました。

同道場建設は、我が国政府の支援に加え、国際柔道連盟及び井坪氏ご遺族からの支援、並びにボツワナ国家スポーツ委員会からの土地提供を受けて実現しました。この道場で研鑽を積んだ柔道選手の中から、2020年の東京五輪への出場が大いに期待されます。（本件は外務省フェイスブック <https://ja-jp.facebook.com/Mofa.Japan> 及びツイッター https://twitter.com/MofaJapan_jp にも掲載されています。）



尾西大使によるテープカット

柔道道場の看板



井坪氏の遺影と記念写真

柔道の指導を行う田知本選手